



あいち通信 第六十二号

会員拡大のチャンス到来！

今、日本会議が注目されています。フライデー、朝日新聞、しんぶん赤旗などに取り上げられ世間の認知度が上がってきています。意外と皆さんの周りの人たちも日本会議のことを知っているかもしれません。実際に私の職場でも、「えっ、あのフライデーに載ってた日本会議って本当にあったの？」と意外な人からの反応がありました。実際フライデー掲載に呼応するかのようには会員が増えたと東京本部の人からも聞きました。フライデーでは、第二次安倍内閣の内閣改造後の閣僚の大半が日本会議のメンバーであり、日本会議が安倍内閣に大きな影響を与えている風な表現をしています(実際少なからず影響しているのですが)。朝日新聞では、日本会議によって地方議会に憲法改正の働きかけがされていると再来年の国民投票実施を目指すスケジュールが比較的中立的な表現で取り上げられました。しんぶん赤旗に至っては、日本会議が極右団体とされています。(笑)

左派勢力からはもちろん警戒されていますが、一般の人たちからは意外と好感を持って受け止められているかもしれません。「ねえねえ、日本会議って知ってる?」と声をかけてみてはいかがでしょう?我々の仲間を増やす絶好のチャンスです!

(文責 日本会議 愛知県本部 事務局 松川秀康)

名古屋東部支部9月度臨時例会

(第十師団創立52周年記念式典・訓練展示見学)報告

九月二十一日(日)
 ○一〇〇〇〜一五〇〇
 式典 訓練展示
 一一五〇〜一五〇〇
 中隊毎に露店出展他駐
 屯地内解放
 参加者4名(うち1名予
 備(自衛官))
 当支部顧問である松本
 隆義元一等陸佐のご配
 慮により招待席にて観閲
 させて頂くこととなった。
 ○八〇〇駐屯地正門前
 集合、招待席最上段を
 確保することができた。



式典では歴代師団長紹介、大村知事始め来賓御方が祝辞を述べられた。次いで麾下部隊紹介、十師団担当地域の県旗紹介等為された。軍楽隊の演奏も行われたが、何故か国歌演奏がないばかりか、ポピュラー音楽らしき演奏が多い印象を受けた。敢えて保守を除く地域住民からの好意を取り付ける為の意図を感じるのには私だけだろうか。国防を司る組織がそんな卑屈な態度でよいのか?この点だけは釈然とせず、今尚しこりのようなものが残る。それは置くとして、地元部隊の式典であるだけに感慨はひとしおであった。訓練展示は当然空砲であるが、発射音は実弾並みであり、駐屯地北側のマンション住民から苦情が来ないか案じているが、しつかり事前の根回しはしてあるのであらう。我々は地元部隊が存分に働けるよう積極的に支援してゆかねばならないと考える。

(文責 日本会議 愛知県本部 名古屋東部支部長 江崎雅博)

報告・名古屋西支部 第一回街宣実施!

●開催日時 9月18日(木) 午前8時〜9時 ●場所 中川区 高畑交差点東角地
 ●「憲法改正」のテーマでしたが、朝日新聞の捏造記事に対する批判と一日も早い廃刊を訴えました。

朝の通勤客の多い高畑駅での初めての街宣でした。大川支部長が急な仕事のため、欠席するということで少し緊張しましたが、マイクを持てばそんなことも言つてられません。無我夢中で普段から憲法について自分の思っていることを話しました。現行憲法は絶対に改正せねばならない!

途中で少し緊張もほぐれてきて中川区の防犯についての話もすることができました。(私は中川区の防犯委員でもあります)

西支部は地域密着型の支部でありたいと思いますので今後、中川区・中村区在住の一般国民に日本会議の活動内容をいかに浸透させていくかが大きな課題となります。

(文責 日本会議 愛知県本部 名古屋西支部 副支部長 江場寛一)

報告・名古屋東部支部 第十三回勉強会、街宣実施!

※第一部※ ●開催日時 九月二十八日(日) 午前九時〜午前十一時四十五分
 ●会場 野並コミュニティセンター ●会費 五百円

●参加者数 六名(勉強会)テーマ「集団的自衛権をめぐる動向」、座長 東部支部長 江崎雅博 ●安倍政権において閣議決定された事により話題になる事も多くなりました集団的自衛権について学びました。本来、自国の安定 平和は自国防力でも守りきるのが最良であるのは自明の事でありますが、混乱する国際状況を鑑みれば集団自衛権の行使容認は必要不可欠であります。これまでの「集団的自衛権を国際法上、保有しているが憲法上、行使が許されない」という解釈では日米同盟が正常に機能せず東アジアの不安定化を誘発する恐れも出てくる事を学びました。また、グレートゾーンへの対応やボジティブリストの問題などこれから議論の俎上に上がるであろう内容をしっかりと確認しました。

※第二部※ ●街頭演説活動 ●開催日時 同日 午後二時〜四時 ●場所 昭和区 御器所交差点南西角地 ●会費 無料 ●参加者数 六名【街宣】暑さの残る気候の中、自主憲法の制定について訴えさせて頂くと共にチラシ配り、署名活動を行いました。少しずつではありますが、興味を持って頂ける方も増えてきているように思える有意義な時間となりました。☆名古屋東部支部では自主憲法制定に関して街宣活動にて訴えて欲しい内容を募集しております。メール(kakehashi.katou@hotmail.co.jp) 加藤貴之宛までお気軽にご連絡の程、宜しくお願致します☆ (文責 日本会議 愛知県本部 名古屋東部支部 事務局 長 加藤貴之)

人殺しと罵られて

元自衛官南部文宏の

手記その2

3ヶ月の前期教育を終えた私は、人員物資の輸送を主な任務とする第一〇輸送隊現 第一〇後方支援連隊輸送隊に配属されました。この部隊では大型自動車免許を持っていないと仕事になりません。早速、自動車教習所に通わせてもらうことになりました。

自衛隊は隊員に免許を取らせるため自動車教習所を持っています。私は給料を貰いながら、大型免許を無料で取らせて貰ったわけですから、今にして思えばほんとに旨い話です。3ヶ月後、予定通り大型免許を取得しましたが、当時私は一九歳と六ヶ月。この年齢で普通免許を飛び越えての大型取得は世間では絶対にありえないことです。

免許を取得して晴れて一般隊員となり、東は富士山の裾野の演習所、西は琵琶湖の養庭野演習所とあちこち操縦しました。トラックの荷台に人間を二十名載せて走るのは、神経がすり減るほど怖かったのを今でも覚えてます。

さて、夜は左翼の巢窟、愛知大学に通いましたが、校門では左翼学生が共産党のチラシ配布をほとんど毎日のようにやっていた。雨が降ろうが風が吹こうが熱心な彼らに、思想信条は相容れませぬがある意味、敵ながらアツパレと脱帽したものでした。保守系の新聞やチラシなど学内で見たことがなかった。強いて言えば統一教会系の勝共連合が、共産党を攻撃するチラシを見たことが数回ありました。そのチラシの文面たるや、いくらなんでもそこまで書くのかと閉口するほどのおぞましいものでした。

入隊して三年目の昭和五十六年の夏のこと、第一〇師団は木曾川の河川敷で渡河訓練というのを行いました。

た。木曾川で船や急しりえの橋を使って武器や隊員を向こう岸に運ぶという訓練です。

後方支援部隊に所属する私が直接に訓練に参加することはありませんでしたが、警護のために出動し、そこで私は同級生たちから「お前は人殺しだ」と罵られるのでした。顔と顔10センチの至近距離から「人殺し」を入れ代わり立ち代わり罵られたのです。 つづく

事務局日誌(八月)

服部守孝

一日(月)今夏開催した、第十四回もうひとつの戦争展反省会。参加団体からの報告と全体総括が出された。明年のテーマを終戦七十周年特集とし、会場は名古屋国際センター、会期は七月三十一日、八月二日の三日間となった。これからまた一年かけて企画が進む。

四日(木)長らく貸したままになっていた愛読書「国士内田良平」を返して、友人来訪。お互いの近況報告などとして、暫し旧交を温めた。次回は一献交えることを約して別れる。

七日(日)第六十回愛知縣護國神社清掃奉仕。第一回からちょうど五周年を迎えた。継続は力也。

日本会議鹿兒島の高橋事務局長が来名。名古屋名物「味噌かつ」を食べながら情報交換。高橋氏は本部分り派遣された専従員であるが、約十年の間に組織基盤を固められ、今日では鹿兒島における保守重鎮として、地元マスコミにも度々登場されている。

十日(水)来る十一月三十日の日本会議東海大会のチラシが完成。一本の息吹十月号に東海地区会員宛二千五百枚を同封していただくよう依頼した。

藤哲夫先生(日本政策研究センター代表)が決定。伊藤先生は第一次安倍政権時の政策ブレーンとして活躍され、今日でも様々な政策提言をされている。

十四日(日)日本政治経済研究所夏季セミナーにスタツプ参加。百地章先生(日本大学教授)、高橋史朗先生(明星大学教授)らによる憲法シンポジウムは盛況だった。

二十日(土)名古屋中支部第三回例会。八尾支部長による国の財政状況の講話があった。次回は、幕末維新の先人に学ぶと題して、不肖ながら私が講話を担当することになった。

二十一日(日)日本協議会・日本青年協議会東海ブロックセミナーが岐阜で開催され、大葉勢清氏による「中国と対峙するベトナムが求める強い日本」と題した講演があった。

二十二日(月)熱田神宮、若宮八幡社、愛知縣護國神社、津島神社、尾張大國魂神社、真清田神社、大縣神社を参拝し、平素のご支援の御礼かたがた社務所に挨拶申し上げた。

二十四日(水)今日は三河方面へ。砥鹿神社、岩津天満宮、知立神社を参拝。

た、担当幹事の報告があった。四年前に第一回を七十名ほどで開催したが、ずっと奉仕の精神で運営にあたりつて来た幹事諸君。彼らは、岐阜県土岐市の山中で田を耕し、稲作にも励んでいる。古事記の追体験である。

二十九日(月)愛知県戦没者遺族大会に参列。主催者を代表し、前愛知県知事の神田真秋氏が挨拶された。壇上には、速やかな遺骨収容、総理の靖国神社参拝、代替追悼施設反対などのスローガンが大書されていた。

三十日(火)夕方より東京。明日は「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が設立される。

行事予定

■名古屋中支部 第五回例会 十一月十四日(金) 十九時〜二十一時 場所 (株)エウケイ会議室

■春日井支部 例会 十一月十六日(日) 十三時〜十六時半 場所 ルネック勝川

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 11月2日(日)午前8時開始、9時終了予定。
■引き続き12月7日(日)午前8時より実施予定。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。★10月2日は、雨の中13名の方にご参加いただき拭き掃除をしました。また、1名の方に初参加していただきました。



(8月3日奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。

■三島由紀夫・森田必勝両烈士 四十四年祭 十一月二十三日(日)十三時受付開始 愛知県護国神社 桜華会館 梅の間(本館二階) 会費 二千円 各位、献歌をご用意ください。

新規入会者ご紹介 (平成二十六年八月) 二人会ありがとうございました。 神田 薫(議員会員) 徳升岳仁(正会員) 身玉山宗三郎(正会員) 杉藤庄平(正会員) 平岩和子(女性会員) 戸田民志(支援会員) 松平繁明(支援会員) 小椋 翔(支援会員) 垣花和貴(支援会員) 辻本孝一(支援会員) 種別順入会日順、敬称略

